

古豪復活

本校は、1945年の創立以来、地域とともに歩み、多くの卒業生を社会へ送り出してまいりました。沖縄戦後の混乱期に地域の学びの灯として誕生し、72年の本土復帰を経て、現在の沖縄県立石川高等学校へと受け継がれてきた歴史は、本校の大きな誇りです。

石川高校は、校訓である「誠実・敬愛・自主」のもと、教育理念の「教学相長」教える側と学ぶ側がともに高め合いながら成長していくことを大切にしています。現在は、「地域や社会の中で主体的に考え、多様な人と協働できる、未来を創造する意欲をもった生徒の育成」をスクール・ミッションに掲げ、その達成に向け、私たちは次の点を学校の重要な指導方針として位置付けています。

第一に、「授業を大切にできる学校」であることです。日々の授業は、生徒の成長の土台であり、学校教育の中心です。本校では、分かる喜びや学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに全教職員で取り組み、確かな学力の定着と主体的に学ぶ力の育成を目指しています。

第二に、基本的な生活習慣の確立です。時間を守ること、挨拶を大切にすること、規則正しい生活を送ることは、学習や部活動、将来の社会生活のすべてにつながる基盤です。学校生活を通して、自らを律し、周囲とよりよい関係を築く力を育てていきます。

第三に、一人一人の生徒をしっかりと支援することです。生徒はそれぞれ異なる個性や背景、目標をもっています。本校では、きめ細かな指導と温かな関わりを大切に、学習面・生活面・進路面のいずれにおいても、生徒一人一人に寄り添った支援を行っています。生徒が安心して挑戦し、失敗から学び、成長できる学校でありたいと考えています。

また、本校は普通科高校として、生徒の進路希望の実現にも力を注いでいます。大学・短期大学・専門学校への進学、就職など、それぞれの目標に向かって挑戦する生徒を、教職員が一丸となって支援しています。ここ石川の地で育まれる学びと経験が、生徒たちの将来を力強く支える礎となることを願っています。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援を賜りながら、「生徒が誇りをもち、地域に信頼される石川高等学校」を築いてまいります。創立80年の歴史を踏まえ、合言葉は「古豪復活」です。石川高校の教育方針をご理解いただき、引き続き、本校への温かいご支援をよろしくお願いいたします。

令和8年4月吉日

沖縄県立石川高等学校

校長 外間一先